

# 学校だより

発行：札幌市立前田中学校  
札幌市手稲区前田7条  
13丁目1番1号  
(TEL) 682-9511

## 『可愛い子には旅をさせよ』

教頭 谷口 由香利

4月のスタートから一ヶ月ほどたちました。生徒たちは気持ちも新たに、学年ごとの旅行的行事に向けて着々と準備を進めています。3年生は5月17日～19日の2泊3日で修学旅行、2年生は5月30日～31日の1泊2日で宿泊学習、1年生は5月27日の日帰りで野外学習です

旅行的行事とは学習指導要領に「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと」とあります。学校の校舎から外に出て見聞を広めたり、集団生活の在り方について学んだりする大切な機会なわけですね。

旅といえば「可愛い子には旅をさせよ」ということわざがあります。現代では「可愛い我が子を甘やかして旅をさせてやる」という誤用もあるようですが、もともとは「自分の子供が可愛いのであれば、手元にずっと置いておくのではなく、世の中に出して、社会の厳しさや辛さを経験させるのが良い」という意味で使われます。このことわざが生まれた頃の旅は現代のように電車や飛行機などの交通の便がなく、足だけが頼りでひたすらに辛く厳しいものでした。旅の途中で病気になって死んでしまうこともありましたから、旅立つ時には二度と会えないかもしれないと水杯(みずさかずき)を交わすほどでした。江戸時代の松尾芭蕉も、奥の細道の旅に出るときは二度と帰れないかもしれないという覚悟で芭蕉庵を他人に譲ってから旅に出たといわれています。

旅に出るといことは何らかの苦勞を伴います。今回の旅行的行事でも、普段通り学校の中で生活していたら経験しない苦勞があることでしょう。例えばホテルで宿泊するときの部屋決めなどで、自分の思い通りにいかなかったり、自分の希望を他の人に譲ったりしたことがあったかもしれません。また、当日現地で班行動をするときに、班員同士でもめたりすることもあるかもしれません。しかしそういった苦勞の中から他人と力を合わせるときに必要なことを学んでいくわけですね。旅で学ぶことは多いです。

どの学年も旅を経て一回り大きく成長することを期待しています。



新学期が始まり約1ヶ月がたちました。各学年の活動の様子についてお伝えします。



## 「1学年の様子」

1年1組 担任 工藤 聡美

中学校での生活も1ヶ月が過ぎて、緊張していた表情も少しずつ和らぎ、笑顔が多く見られるようになってきました。入学当初の休み時間には、小学校の時の友達と話す生徒が廊下に溢れていましたが、それも今は落ち着きつつあり、教室の中で過ごしている生徒が多くなってきました。また、中学校生活のスピードにも慣れてきて、教室の移動や給食準備なども時間内にできるようになってきました。

小学校から中学校へと生活のしかたが大きく変わり、生徒もそれに合わせて変わろうとしています。少しずつ色々なことができるようになってきましたが、やはり疲れを感じている生徒もいるようです。中にはそれが体調に現れる生徒もいて、腹痛や頭痛を訴える場面も見られました。1学年の教師や教科担任など、お互いに情報を共有しながら生徒を見守りたいと思います。早く中学校生活に慣れ、習慣化されることで疲れを軽減し、部活動や行事などに取り組みながら、楽しんで生活を送ってほしいと願っています。

## 「2学年の様子」

2年1組 担任 藤原 俊司

進級してひと月が過ぎ、初めは緊張した様子もありましたが、全体的には新しい環境に慣れ親しんで生活している様子が見受けられます。先輩として頑張っている姿も少し頼もしく感じられるこの頃です。勉強の取組も概ね前向きですが、欲を言えば授業中の発言がさらに増えたり、自分から進んで学習を進めていく姿勢がより多く見られることを期待します。提出物については期日厳守を引き続き心掛けてほしいと思っております。

話題は変わりますが、先日、強風の吹き荒れた日のこと。学校の前で大きなものが風に流されて移動している危険な状況がありましたが、それに気付いた2年生数名が「何とかしなければ」という思いで行動してくれることができました。この他にも人助けをしたという話がいくつも耳に入っていたり、校内でも手伝いを呼びかけると気持ちよく応えてくれる子がたくさんいます。このように人のためにも頑張れる子どもたちがたくさんいます。成長が楽しみな一年が始まりました。

## 「3学年の様子」

3年1組 担任 佐藤 史子

クラス替えもなく、スムーズなスタートを切った3年生ですが、同じメンバーでの2年目ということもあり、少し気持ちの緩みがちな雰囲気がある場面もありました。しかし、修学旅行の取り組みが本格化する中で、自分たちの仕事に責任を持って取り組むことで、本来の子ども達の姿に戻っていく様子が見受けられました。

現在は修学旅行に向けて、生活向上週間の取り組みを行っています。この生活向上週間は自分たちの基本的な生活習慣を見直し、改善していくことをねらいとしており、挨拶、時間、忘れ物など様々な場面で、自分たちの学級はしっかりとできているかを見直しています。修学旅行の実行委員会を中心に、各学級で呼びかけを徹底している姿に成長を感じます。集団として互いの良さを相互にはたかせ、成長した3学年。1年生の時から積み上げてきた大切なことをぜひ成果として修学旅行で発揮できることを心から願っています。3日間、安全に配慮し、無事帰着できるように努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

保護者の皆様におかれましては、日頃より3学年の活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。